

伊集院保健所感染症情報

2026年第29週（令和8年7月13日～令和8年7月19日）

【お問い合わせ先】 ☎899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html>

定点把握感染症

管内流行発生警報発令中：伝染性紅斑

定点医療機関【ARI2（インフルエンザ・COVID）、小児科1、基幹定点1】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第26週	第27週	第28週	第29週	先週からの増減	第28週	前週からの増減
ARI（急性呼吸器感染症）	—	—	—	124.50	134.50	117.50	100.00	↘	60.58	↘
インフルエンザ	30	10	10	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.04	↗
COVID-19	—	—	—	22.00	45.50	33.50	19.50	↘	11.54	↘
咽頭結膜熱	3	1	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.68	↘
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	—	8.00	6.00	2.00	2.00	→	1.16	↘
感染性胃腸炎	20	12	—	0.00	1.00	0.00	0.00	→	3.48	↘
水痘	2	1	1	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.32	↗
手足口病	5	2	—	17.00	12.00	10.00	0.00	↘	4.13	↘
伝染性紅斑	2	1	—	4.00	3.00	2.00	2.00	→	0.19	→
突発性発しん	—	—	—	0.00	1.00	0.00	2.00	↗	0.32	→
ヘルパンギーナ	6	2	—	6.00	1.00	0.00	0.00	→	0.68	↘
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	↘
R S ウイルス感染症	—	—	—	9.00	2.00	1.00	3.00	↗	1.90	↘

※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし、注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし

TOPIC 7月27日(月)から8月2日(日)は「肝臓週間」です。

我が国では、B型肝炎ウイルス又はC型肝炎ウイルス感染に起因する肝炎患者が、肝炎に罹患した者の多くを占めています。

肝炎ウイルスに感染していても、検査をできるだけ早く受けて感染を知り、医療機関で適切な治療を受けることで肝硬変や肝がんといった深刻な症状に進行することを防ぐことができます。

ウイルス性肝炎についての正しい知識を得て、早期発見・早期治療に結びつけましょう。

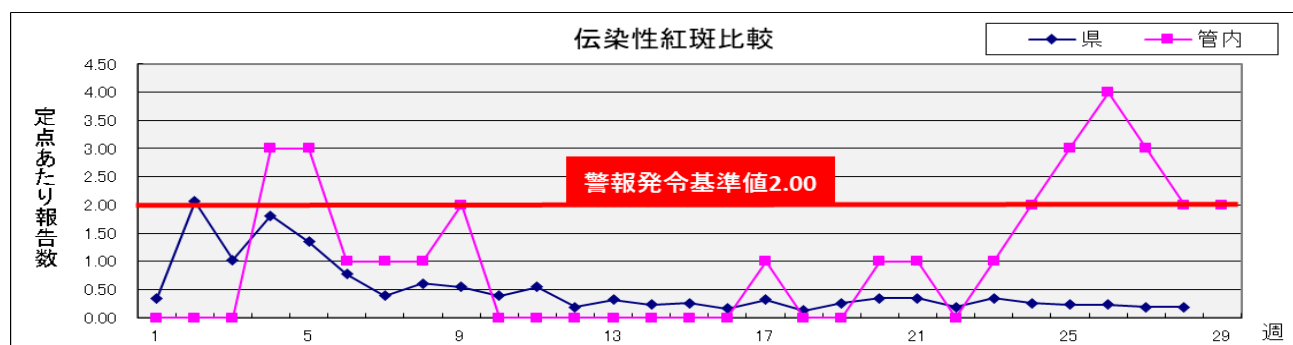
伊集院保健所では、次の日程で「夜間肝炎検査」を実施します。検査は原則無料、匿名で受けられます。

7月28日(火) 午後5時15分までに予約が必要です。プライバシーは保護されていますので、安心して受けられます。

検査実施日：令和8年7月29日(水) 午後5時～7時
予約TEL 伊集院保健所 099-273-2332

● 注意すべき感染症

・ 伝染性紅斑（流行発生警報発令中）



第29週の伊集院保健所管内における伝染性紅斑の報告数は、10～14歳・15～19歳（各1人）定点当たり2.00でした。

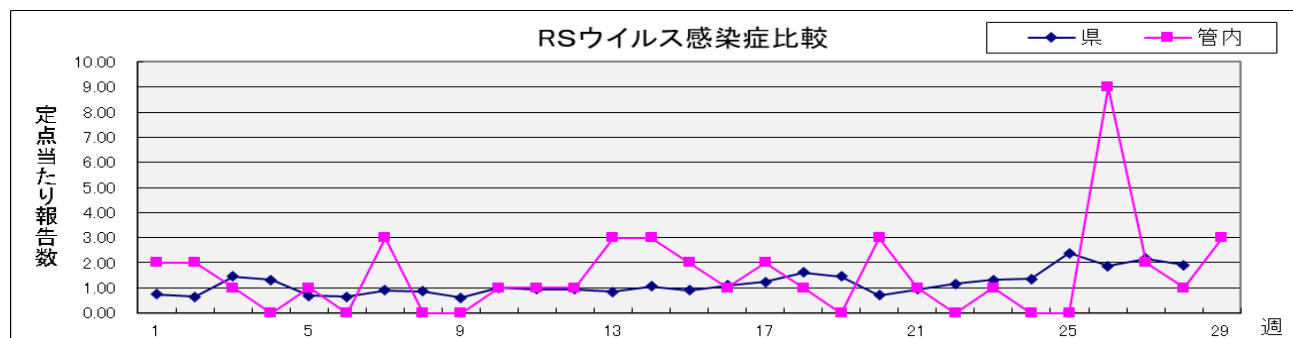
伝染性紅斑は、ヒトパルボウイルスB19による感染症です。小児を中心にみられる流行性の発疹性の病気です。両頬がリンゴのように赤くなることから、「リンゴ病」と呼ばれることもあります。

10～20日の潜伏期間の後、微熱やかぜの症状などがみられ、その後、両頬に蝶の羽のような境界鮮明な赤い発疹（紅斑）が現れます。発疹は1週間程度で消失します。感染経路は、飛まつ感染や、接触感染です。

伝染性紅斑に感染したことのない女性が妊娠中に感染した場合、胎児にも感染し、胎児水腫などの重篤な状態や、流産のリスクとなる可能性があります。熱や倦怠感が出現した後に発疹が出るなど、伝染性紅斑を疑う症状がある場合は、医療機関に相談しましょう。

予防方法として、患者と濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットなどの一般的な予防法を励行しましょう。

・ RSウイルス感染症



第29週の伊集院保健所管内におけるRSウイルス感染症の報告数は、1歳（2人）、2歳（1人）定点当たり3.00でした。

RSウイルス感染症は、急性の呼吸器感染症で、年齢を問わず何度も感染を繰り返しますが、初回感染時には、より重症化しやすいといわれており、特に生後6ヶ月以内に感染した場合には、細気管支炎や肺炎など重症化することがあります。

潜伏期は2～8日とされ、発熱、鼻汁、咳などの上気道炎症状が数日続きその後、場合によっては、気管支炎や肺炎などの下気道症状が出てきます。感染経路は、感染した人の咳やくしゃみなどによる飛まつ感染と、ウイルスの付着した手指や物などを介した接触感染といわれています。

予防対策は、鼻汁、咳などの呼吸器症状がある場合はマスクが着用できる年齢の子どもや大人はマスクを使用する、手洗いや手指衛生といった基本的な対策の徹底を行うことが大切です。

また、60歳以上を対象としたワクチンと、生まれてくる子どもの予防を目的とした妊婦さんを対象としたワクチンもあります。

○学校における感染症による出席停止の状況7/13～7/19（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

今週は、水痘1人、COVID-19の30人の報告がありました。

自治体名	疾患名	水痘（みずぼうそう）	新型コロナウイルス感染症
日置市		0	12
いちき串木野市		0	18
三島村		0	0
十島村		1	0
計		1	30